

## 視点を大切にした地図帳の活用

東京都公立中学校教諭 北上 松風

**先生**：「今日は、地理の授業の最初に結婚について考えてみましょう。」

(驚く男子生徒と喜ぶ女子生徒。ザワザワ教室は目の色が変わり活気づく。)

**先生**：「では、結婚するならどんな人がいいですか？」

**生徒A**：「ぼくはやさしい人がいいです。」

**生徒B**：「私は背の高い人がいいです。」

**生徒C**：「私は給料が高い人。」

**生徒D**：「ぼくは、テニスをする人。」

**先生**：「結婚相手を探すにも様々な見方がありますね。この見方を**視点**といいます。たとえばAさんなら「性格」、Bさんなら「身長」、Cさんなら「収入」、Dさんなら「趣味」という**視点**です。視点を**は**っきりさせて、その人を分析すると、その人**特徴**が**は**っきりしますね。」

**生徒**：「なるほど。」

**先生**：「結婚相手を探すときに、実はみなさんは意識しないで、**比較**をしていました。比較には2つあって、【自分】と**比較**する場合と【**全国平均**】と**比較**する場合です。たとえば「身長」は自分より高いのか？は【**自分**】との**比較**、「収入」は一般の人たちと**比べて**高いのか？は【**全国平均**】との**比較**です。視点を**比較**することで、さらに**特徴**が**は**っきりします。」

**先生**：「さて、これから自分の住んでいる都道府県以外の県学習をします。自分の住んでいる県ではないので、何も知らないとします。どのような**視点**で調べたらよいのでしょうか？」(視点という言葉の意味が、クラス全体で共通理解されているので、発問に正対して考えることができる)

**生徒A**：「ぼくは、その県がどんな地形なのか調べ

てみたい。」

**先生**：「それは、自然環境という視点ですね。」

**生徒B**：「私は、その県がどんな野菜を栽培しているのか調べてみたい。」

**先生**：「それは、資源産業という視点ですね。」

(次々と県を調べる視点を生徒の発言を整理しながら明らかにしていく)

**先生**：「その調べた項目を、全国平均と比較したり、また自分の住んでいる県と比較したりすると、さらに**特徴**が**は**っきりします。」

**生徒C**：「この前勉強した自分の住んでいる県と比較するのですね。」

**先生**：「そうです。たとえば、地図帳のp.100の②『東京湾の埋立と自然環境』をみてください。たとえば、この資料は東京都の自然環境の中でも、東京都ならではの**特徴**を鮮明に表しています。地図帳のp.102にも東京都の**特徴**を記した資料がたくさんありますね。自分の住んでいる県と比較すると、さらに**特徴**が**は**っきりします。このように地図帳には具体的な**特徴**を示す視点を**ヒント**が**満載**されています。効果的に活用しない手はありません。」



帝国書院  
『中学校社会科  
地図(初訂版)』  
p.100

**生徒**：「先生質問！ 先生の結婚相手の視点は何か？」

**先生**：「それはまた次の時間に・・・。」(+、+)